



縄文時代の生活を再現した博物館のジオラマ

教育と文化のそろうがみ

市民のみなさんお待ちかねの市立博物館をはじめ、教育・文化施設が今春完成し、生産と生活が調和する産業文化都市づくりにまた一歩前進しました。

これらの施設を有効に活用するのはみなさんです。地域のコミュニティづくりに、文化意識の向上に役立ててください。

なお、北中校舎・体育館・鷹小体育館
吉原小校舎・体育館のほか、大淵1小・
吉原2中・南中の各校舎、依田原新田公園・
総合運動公園・富士緑道・富士川緑地公園の
建設費の一部は簡易保険積立金から、また南公民館
ほか、第一清掃工場、地域し尿処理施設・第3
保育園の建設費の一部は年金積立金からそれぞれ
還元融資を受けています。



あなたの意見を聴きたいんです

最近、広聴ということがよくいわれます。

これは行政が、広く市民のみなさんの声に耳を傾けるといった意味合いのことです。

市は、市民が日ごろ市に対して感じていることや、今後こうしてほしいという意見や、要望をお聞きするいろいろな窓口を設けています。

そのひとつとして「市長への手紙」制度があり、公民館などの公共施設に用紙を置き、市長に手紙で通信できるようにになっています。

この制度をより一層みなさんに利用していただくため、今回発行の「広

報ふじ」にこの手紙をおりこみました。

市は「生産と生活が調和する産業文化都市づくり」を基本目標にいろいろな事業を進めていますが、より多くのみなさんのご意見を参考にしたいので建設的な意見やアイデアを市長にお寄せください。

こんなことに注意して

- ・おりこみの手紙を切り取り、おりたたんでのりづけしてください。
- ・切手をはらずにそのままポストへ入れてください。



〔あなたのご意見は直接市長が…〕

- ・住所・氏名・電話番号は内容の問い合せとか回答する場合に必要ですから必ず書いてください。
- ・問い合せは 市広報広聴課

☎51-0123 内線528